

戦前 この地は、昭和 18 年（1943 年）に、現在の厚木基地の前身である【相模野海軍航空隊（厚木戦闘機隊）】の【高座海軍工廠（航空兵器製造工場）】として、30 万坪の用地・工員 3 万人・年産 6,000 機の計画が座間市と海老名市にまたがり計画されました。

そして、12 歳から 19 歳の優秀な少年約 8,000 人が大和市を中心に暮らして居ました。

更に知りたい方は、<http://www.0462.net/index.html> の『まめこぞうの旅座間の歴史探検』<http://www.0462.net/blog/mamekozo/index.html?CATEGORY=2113>

大和市 HP <http://www.city.yamato.lg.jp/koucho/virtual/t-syounenkou1/tsgaiyo.htm>
高座海軍工廠のページは、他にも多数あります。

終戦直後 食糧難を解消するために昭和 23 年（1948 年）、現在の東柏ヶ谷三丁目・四丁目
に 30 数世帯が入植し『高座開拓組合』を結成し農業をはじめました。当時は、高座郡海老
名町柏ヶ谷字大道付 19XX 番地の表示で、大道付（おおみつけ）は電柱や公園の名称に今
でも生きています。

現在の 5,6 丁目には『晴耕開拓組合』、大綾瀬市大上には『??開拓組合』がありました。
といっても、農業機械の無い時代に工場跡地を開墾（畑にする）にはコンクリートを剥が
し砂利をすて耕すという大変な重労働で農具（リヤカー・つるはし・スコップ・鍬）も消
耗が激しく、頓挫する世帯も数軒あったようです。当然の事ながら当時は資材不足であり、
建物は自然にどこかに消えていきました。公然とそれが許される時代でもあったようです。

農作物には灌水は欠かせません。昭和 23 年（1948）から昭和 38 年（1963）の足かけ 16 年
をかけて、相模原から藤沢・綾瀬までの台地上に、食糧増産、畑作農業の経営安定化・収
量増加を狙って作られた農業用水路。だが昭和 30 年代に入り、都市化や工業化の波にのま
れ、竣工とほぼ同時に使われなくなった悲しい歴史を持つのが、さがみの駅南北（座間と
東柏ヶ谷）にまたがる『さくら並木』の歴史・名残です。詳しく知りたい方は、東柏ヶ谷
育ちの坂田ひろゆき氏のホームページ <http://www13.ocn.ne.jp/~tontones/>『畑地かんがい用
水路西幹線を歩く』をごらん下さい。

四丁目自治会の誕生 昭和 52 年（1977 年）5 月に住居表示変更に伴い、今までの自治会（現
三丁目と四丁目合同）が解散し各々で自治会が発足しました。

以前から、『高座開拓組合』組合事務所を自治会活動の拠点として使用していた経緯もあり、
また新自治会の要望もいれて、『高座開拓組合』の解散を期に、組合事務所用地（現三丁目
自治会館からさがみ野診療所までの約 300 坪）を 2 分して、四丁目自治会館の用地 150 坪
が確保されました。

四丁目自治会館の建設 昭和 54 年（1979 年）には『東柏ヶ谷四丁目自治会館』が建設さ
れ現在に至っています。当時は 433 世帯でしたが現在では 1200 世帯を超え、約 3 倍です。
世帯数増加と高齢化とへの対応策が求められて要る事は当然のことでしょう。

東柏ヶ谷小学校への通学路（中村屋と旧東洋電機の中の細道）も高座開拓組合員の志で寄
付された土地が当てられました。